

科目名	哲学のみちしるべ	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ) <input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)	
			全学科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
			学科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Introduction to Philosophy	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input checked="" type="checkbox"/> 4年	
ふりがな	ぜにや あきお	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中	
担当者名	銭谷 秋生	修得単位	2単位	
授業のテーマ	哲学の諸問題とそれらを考える筋道を理解し、自ら哲学的な思考を展開できるようになる。			
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1. 哲学が何を問題とする学問なのかを理解できる。 2. 哲学的な問題を解いていく筋道を身につけることができる。 3. 自ら哲学的な問題を見出し、それについて論理的に考えることができる。			
授業概要	この講義では、哲学の世界で探求されている代表的な問いを取り上げ、それを腑分けしながら、哲学的に考える筋道を提示します。主として取り上げる問いは、「有るとはどういうことか」や「時間はどこを流れているのか」あるいは「心をもつとはどういうことか」といった、我々の知識や経験の構造を問題にする問いです。問そのものは古典的ですが、できるだけ現代の哲学者たちの思索を参照して考察を進めます。			
授業計画				
第1回	イントロダクション。(哲学は何を問題とする学問なのか)			
第2回	この現実が何ものかが見ている夢ではないとどうやって言えるか(1)。(デカルトの問い)			
第3回	この現実が何ものかが見ている夢ではないとどうやって言えるか(2)。(真理の实在論と反实在論)			
第4回	何かが「有る」とはどういうことか(1)。(存在論の根本問題と素朴实在論)			
第5回	何かが「有る」とはどういうことか(2)。(有るとは「観念として」有ることだとする観念論)			
第6回	何かが「有る」とはどういうことか(3)。(観念論の検討)			
第7回	何かが「有る」とはどういうことか(4)。(实在論の立場)			
第8回	科学的实在論と反实在論(1)。(観察不可能なものの存在)			
第9回	科学的实在論と反实在論(2)。(理論の決定不全性)			
第10回	時間はどこを流れているのか(1)。(過去が成立する場)			
第11回	時間はどこを流れているのか(2)。(世界の概念的把握と時間の成立)			
第12回	心をもつとはどういうことか(1)。(心と身体をめぐる二つの謎)			
第13回	心をもつとはどういうことか(2)。(伝統的な心身二元論)			
第14回	心をもつとはどういうことか(3)。(因果説と心脳同一説)			
第15回	心をもつとはどういうことか(4)。(非法則的一元論と創発説)			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	毎回、次の回のプリントを配布しますから、目を通してください。その際、分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。(1.5時間程度)			
履修条件 受講のルール	授業時間中に学生を指名して授業内容について意見を求めますから、指名された学生は必ず自分の考えを述べてください。また、授業の最後に質問票を配りますから、それに質問を書き込んでください。			
テキスト	毎回、プリントを配布して、それに沿って講義を進めます。			
参考文献・資料	『現代哲学』 門脇俊介、産業図書(2002) 『心の哲学入門』 金杉武司、勁草書房(2007)			
成績評価の方法	質問票への記入内容(20%)と定期試験の解答(80%)で評価します。なお、出席回数規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。			

オフィスアワー	水曜日 12:30～14:30
成績評価基準	平成28年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	皆さんはこれまで、「時間って何だろう?」とか「生きることに意味なんてあるのだろうか?」といった問いに襲われた経験がきっとあると思います。哲学はそのような根本的な問いと正面から向かい合う学問です。一緒にそれらを徹底的に考えるという知的冒険をしてみましょう。